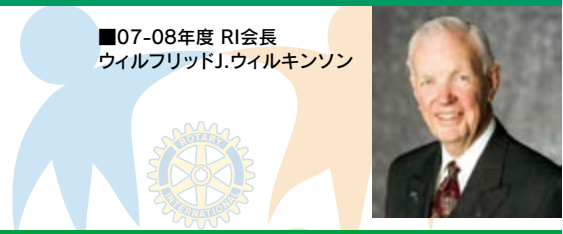




# WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinain-rotary.com](mailto:info@meinain-rotary.com)



## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30  
■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054  
■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

### 第 807 回

2008年3月4日(火) 晴 第31回

～識字率向上月間～

斉唱 君が代 それでこそロータリー  
出席 会員 73名 (出席率算入人数 71名)  
出席 53名 出席率 74.64%  
前々回補填率 100% (2月19日分)

#### 3月の誕生日

5日 三浦 隆さん	6日 西村己恵子さん
6日 鈴木 一博さん	12日 加藤 宜之さん
17日 朝比美和子さん	19日 久米 伸治さん
25日 水野 俊男さん	25日 生野 房江さん
26日 入谷 直行さん	

#### 3月の誕生日(配偶者)

1日 小澤 弘子さん	5日 朝比 久雄さん
6日 川村 良子さん	7日 林 直子さん
8日 大隅 理子さん	10日 三浦 光子さん
25日 入谷由紀子さん	29日 佐々木淳子さん

#### ◆会長あいさつ◆

会長 大隅 紀郎さん

今日は、わが友達の久米伸治さんの、お亡くなりになったお父さんの式に多数ご参加いただきまして、会長としても感謝申し上げます。

それと、非常に景気が悪くなっております。円高にもなっております、私も円の為替のことでお話し申し上げておりました。私はターニングポイント 105円の一部為替のFXをやっておりますが、現在 102円後半から 103円でございますので、とうとう今月は足が出るかな、赤字になるかなと、ちょっと心配しております。では今晚も楽しんでください。ありがとうございました。



#### ◆幹事報告◆

幹事 杉山 隆秀さん

幹事報告はございません。

#### ◆ニコボックス◆

\*久米さん、お悔み申し上げます。 林 隆二さん  
柴田 照子さん 金原 正彦さん 武藤 正行さん  
山崎 淳さん 鈴木 厚司さん 犬飼りさ枝さん

浅井 浩さん	川村 繁生さん	新原 尚さん
三浦 和人さん	中村 勝さん	杉本 勇さん
小澤 久隼さん	鈴木 享さん	宮崎 良一さん
田中 省三さん	青木 光輝さん	中西 芳子さん
大橋さなえさん	大隅 紀郎さん	平沼 里子さん
三島多恵子さん	坂田 信子さん	菊岡深智子さん
西村己恵子さん	堀田 光江さん	伊藤 博昭さん
安藤 鏝一さん	加藤 英敏さん	朝比美和子さん
木下 福郎さん	猪村 美之さん	江村 雅夫さん
林 正人さん	木村 猛さん	三浦 隆さん
生野 房江さん		

\*先日の私の卓話の時は色々とうございました。

大橋さなえさん

\*バッチを忘れました。

加藤 宜之さん

\*久しぶりのホームクラブです。

坂本 晃さん

本日合計 49,000円 累計 1,540,000円

#### ◆委員会報告◆

●社会奉仕委員会 委員長 田中 省三さん

社会奉仕委員会の年度事業として、例年どおり高等学校卒業生に記念品として腕時計を贈らせていただきました。中央有鄰学院女生徒1名、名古屋養育院女生徒1名、男子生徒3名、合計5個の時計を贈らせていただきました。なお、昨年度中央有鄰学院へ、前任の社会奉仕委員より寄贈されたパソコンは、非常に好評で、大変感謝しておられました。

●ロータリー財団委員会 委員長 三島多恵子さん

毎年、ロータリー財団のほうに100ドル寄付をいただいておりますが、昨年、ロータリーレートを116円でお支払いいただきました皆様、差額をお返しさせていただきます。116円でお支払いになった皆様、事務局に申し出ていただきますようお願いいたします。

#### ◆表彰◆

●ロータリー財団寄付表彰

<ポールハリスフェロー>

犬飼りさ枝さん 小坂井重樹さん 柴田 照子さん

<マルチプルポールハリスフェロー>

安藤 鏝一さん 浅井 浩さん 伊藤 博昭さん

久米 伸治さん 宮崎 良一さん 田中 省三さん

#### 第809回例会(3月18日)のご案内

クラブフォーラム

新世代委員長会議報告 平野鶴奈子さん

## ●米山記念奨学会寄付表彰

### <米山功労者>

林 隆二さん 平沼 里子さん 小坂井重樹さん  
三島多恵子さん 三浦 隆さん 森田敏二三さん  
大隅 紀郎さん 榊原 和美さん 鈴木 享さん  
田中 省三さん 堀田 光江さん

## ◆クラブフォーラム◆

### ●ロータリー財団奨学生 太田貴大さんの報告 顧問ロータリアン 川村 繁生さん

ロータリー財団奨学生の太田貴大さんから、第1回の報告書がまいりました。その報告をさせていただきます。



彼はイギリスのオックスフォードを希望していました。理由を聞くと、オックスフォードは鳥類の研究では世界でトップクラスだからだそうです。彼は希望したオックスフォードには入れませんでした。リーズ大学の大学院修士課程で、生物多様性・保全学の勉強をしております。受け入れRCはブリッグハウスRCです。

「私が学んでいるコースは、Leeds大学にある生物学保全学専攻修士課程です。生物学的な側面からの生物保全を中心にしています。地球環境問題への関心が日に日に高くなっていますが、それに伴い、かけがえのない生物を守るという意識も高くなっています。コースの人数は年々増えており、今年は50人近くの学生が学んでいます。私は特に鳥類の保全に興味がありますが、他の学生の興味の対象とするのは、哺乳類から森林まで様々です。

生物保全をするためには、現地に行って実際に活動することが大切です。その基本に従い、コースにはフィールドで行われるものも多くあります。また、実際にイギリスで生物保全に携わっているプロフェッショナルの生の話を聞く講義もあり、実践的なカリキュラムになっています。(中略)

こちらでの活動は大きく二つあります。1点は地区内のクラブによる奨学生用のイベントへの参加、2点目はロータリーアクトの活動です。イベントは、地区ガバナーによるウェルカムディナー、全イギリス奨学生大会、地区大会、リボンRCのイベントなどです。

地区ガバナーによるウェルカムディナーは、同地区で勉強している奨学生が集まり、地区ガバナーと顔合わせをするものです。この会のおかげで、その後の地区大会でも親しく話すことができましたし、既に書いたようにロータリーアクトへの寄付も頂くことができました。

全イギリス奨学生大会は、その名のとおりイギリスに留学している国際親善奨学生が一同に会し、交流を図るというものです。ここで出会った多くの奨学生と、今でも時々連絡を取り、勉強や国際親善についての疑問を討議したり、互いに励ましあっています。

地区大会では、国際親善奨学金の制度と意義を知ってもらうための簡単なイベントが用意されていました。奨学生の人数分で構成されたA4大のジグソーパズルを用意し、そのピースを奨学生が持ちます。参加しているロータリアンが、パズルを完成させるために奨学生を探し出し、ピースをもらいます。その際に制度や意義を説明し、顔も覚えてもらえるというものです。多くのロータリアンの方は、国際親善奨学金の制度自体も知りませんでしたので、国際親善奨学金の宣伝を行うことは、大切なことだと思いました。

リボンRCのイベントは、地区内でも伝統的な観光地として有名なりボンを訪れるというものです。伝統的な教会や遺跡の案内を、ボランティアで活動しているリボンRCのロータリアンから受けました。クラブ全体で伝統的な町を

ボランティアしながら支えているのを見て、自分達の町を愛し誇りに思っていることが伝わってきました。

こちらではロータリーアクトの活動に積極的に参加しています。リーズロータリーアクトクラブは奨学生を中心にいろいろな企画をしています。私は専門である生物保全と鳥類学を組み合わせて何かできないかと考え、鳥用の巣箱を作り生物保護区に設置するというイベントを企画し、進めています。現在、巣箱を設置するという活動自体は、世界中どこでも行われています。私は日本で巣箱を用いた生物調査を行ったことがあったので、ミニレクチャーではその話をしました。また、ミニレクチャーでは、カナダから留学しているクラスメイトにも話をしてもらいました。彼女の話聞いて、巣箱を設置して生物の保全につなげるということが、本当にグローバルなことなのだと再認識しました。今後は実際に巣箱をかけて、どんな生き物が巣箱を利用するのか観察し、その結果と感想を地元の新聞に投書する予定です。

ロータリーアクトでは、この活動以外にも、地元の子供たちと一緒に遊ぶチャリティーイベントなどを企画しています。また、ロータリーアクト内での交流会も企画しています。このように地域の中でリーダー的な活動をするのは、とても将来のためになると感じています。」

今日、報告する場を頂きましたので、太田さんに「その後何かありますか」というメールを送ったところ、その返事が来ました。「2週間のクリスマス休暇を利用して、ヨーロッパ旅行をしました。合計20カ国を訪れました。ひとつひとつの国に滞在した時間は少ないですが、ヨーロッパの文化や言葉の違いを感じるのにはとてもよかったです。ウィーンでは、街角でホットワインを売って、募金活動をしているRCに会いました。アムステルダムでは、環境保全を勉強しているほかの財団奨学生に会って、町を案内してもらいました。」

また、最近はいろいろなクラブで味噌の話をしているそうです。「味噌はなかなか好評です。イギリスではアメリカほど味噌は普及していません。大豆が健康にいいことや、たんぱく質が豊富なことは皆さんもご存じですが、これを発酵食品としてうまく利用している味噌は素晴らしいものだと思います」ただ、遺伝子組み換えの大豆をなぜ使わないのかというような質問が、あちこちで出るそうです。イギリスは「昔から生物保全や環境保全に力を入れており、自然を管理するというスキルがとても発達しています」ということですが、日本は自然を守るということが重要だという考え方があります。イギリスの場合は、守るだけではなくて手を加えて守っていくということも必要だという考え方で、非常に新鮮だと彼は思ったようです。

彼は一生懸命勉強して、半年後には帰ってくると思いますが、そのときはぜひ皆さんにご紹介をさせていただきますと思います。

## ●3月度理事会●

報告者 鈴木 清詞さん

2008.3.4 17:00～

名古屋マリオットアソシアホテル 17F「パインの間」

出席：大隅、坂田、川辺、杉山、小山、宮崎、鈴木(清)、田中(省)、杉本、太田、三島、伊藤(博)

一、次年度委員会構成表の件 <副幹事 鈴木 清詞さん>  
川辺ノミニニより説明

一、文書保存規定の件 <幹事 杉山 隆秀さん>

・事務局に書類がたまつた為これを定める。  
・規定に定められていない文書について再度検討(4月理事会)

一、その他

①「530運動」青空例会について <幹事 杉山 隆秀さん>

・東南RCの今年の企画は、先回ゴミが多く出たので今回は割り弁当の予定

・東南RCの合同例会は中止とする

②名古屋有鄰学院、名古屋養育院の卒業生に腕時計を贈呈した。

<社会奉仕委員長 田中 省三さん>

③サーブ基金の5万円はニコボックスより支出する事を全会一致で承認。

<幹事 杉山 隆秀さん>

以上